

EU 市場は堅調で、見通しは比較的明るい

欧州委員会「牛乳乳製品市場観測サイト」2024 年 9 月会合報告より

欧州委員会が開設している「牛乳乳製品市場観測サイト(Milk Market Observatory = MMO)」の経済委員会 9 月会合がビデオ会議方式で開かれた。同会合の報告書(*1)では、EU の牛乳乳製品市場の近況として、①2024 年 1~7 月の生乳生産量は前年同期に比べて 0.2%増加したこと、②生乳取引価格は 2023 年 12 月以降 1 キロ当たり 46 ユーロセントを上回り、5 月以降はやや上昇傾向にあること、③平均乳製品価格はエメンタルチーズを除き前年に比べて上昇したことなどを報告している。また、世界の他の主要輸出国の多くで 2024 年上半期の生乳生産量が減少したことを報告している。EU の市場は堅調で、見通しは比較的明るいとしている。以下に報告書の要約を紹介する。(読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しなどを補った。)

MMO 経済委員会の第 51 回会合は、2024 年 9 月 23 日に、以下のミルクサプライチェーンを構成する組織の専門家が参加してビデオ会議で開催された。

- COPA-COGECA (欧州農業組織委員会・農業協同組合委員会:生産者を代表)
- EMB (欧州酪農委員会)
- ECVC (ビア・カンペシーナの欧州組織)
- EDA (欧州乳業協会:乳業者を代表)
- Eucolait (欧州乳製品輸出入・販売業者連合:乳製品貿易を代表)
- Eurocommerce (欧州商工会:小売業を代表)

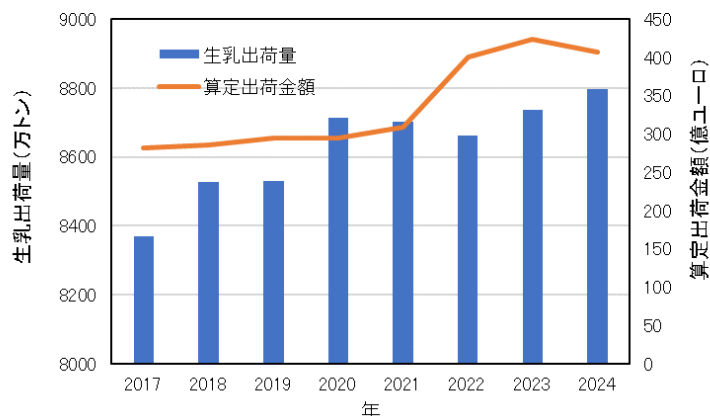
会合でのプレゼンテーションと情報交換では、次の点が強調された。

EU の 2024 年 1~7 月の生乳生産量は 0.2%増加

7 月の生産量は 2024 年シーズンになって初めて前年よりも減少したものの、1~7 月の EU の生乳生産量は前年同期に比べて 0.2%増加し(閏年調整済)、8800 万トン近くの生乳が集荷された。出荷量はポーランド、フランス、イタリア、エストニアで増加しているが、アイル

ランド、オランダ、デンマーク、ドイツで減少している。2024 年 1~7 月における EU の生乳生産の算定出荷金額は、2023 年同期に比べて 3.9%減少したが、2022 年に比べると 1.6%増加した(図 1)。

図1: EUの1~7月の生乳出荷量と算定出荷金額



ルクセンブルクの数値は非公開のため、含まれていない。
出典: MMO economic board meeting report - 23 September 2024 (*1)を基に Jミルク作成

今年は、チーズとフレッシュ乳製品(飲用乳、発酵乳、クリームなど)の製造量が増加している。2024 年上半期の EU の生産量はバター(-2%)が減少したが、その他の乳製品の生産量は、チーズ(+3.4%)、濃縮乳(+5%)、

飲用乳(+1%)、発酵乳(+3.9%)、クリーム(+4%)が増加した。脱脂粉乳と全粉乳の生産量は、2023年上半期と同水準であった。

EUの生乳取引価格は2023年12月以降、1キロ当たり46ユーロセントを上回る

EUの平均庭先(牧場出荷)乳価は2023年12月以降、1キロ当たり46ユーロセントを上回っており、5月以降はやや上昇傾向にある。7月の乳価は前年より6.2%上昇したが、この5年間の平均を17%上回った(図2)。8月の推定価格は、46.9ユーロセントであった。

2024年7月に集荷された生乳の3.5%が有

機で、その内の87%は6か国(ドイツ、フランス、デンマーク、オーストリア、スウェーデン、オランダ)で生産された。EUの有機生乳の平均価格は1キロ当たり53.8ユーロセントであった。2か国(ラトビア、ルーマニア)では、有機生乳の価格は従来品よりも低かった。

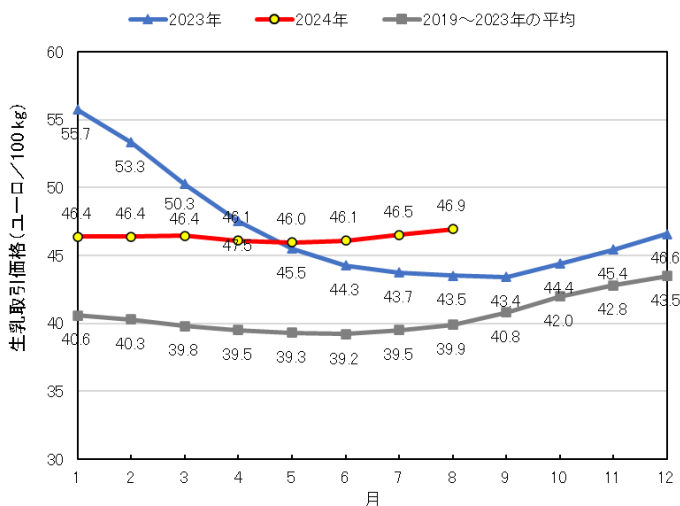
飼料コスト(穀物、菜種粕、大豆粕の混合物に基づく)は2022年初頭からゆっくりと下落中であるが、2020年7月よりもまだ26%高い。一方、生乳取引価格は4年前よりも41%高い。

EUの平均乳製品価格はエメンタルチーズを除き前年に比べて上昇

EUの平均乳製品価格(2024年9月15日)は、エメンタルチーズ(-3%)を除き、前年に比べて高くなっている(表)。この5年間の平均と比較すると、脱脂粉乳(-2%)の価格のみが低くなっている。バターの価格(746ユーロ/100キロ)は記録的な水準にある(前年と比べて+69%、5年間の平均と比べて+63%)。なお、オセアニアは全粉乳、チェダーチーズ、バター、脱脂粉乳の価格競争力が三大輸出国・地域の中で最も高くなっている(図3)。

供給(生産量+輸入量)から需要(国内消費量+輸出量)を差し引いた残余乳製品量に

図2: 生乳取引価格 (EU加盟国平均)



出典: EU historical prices. Milk Market Observatory.

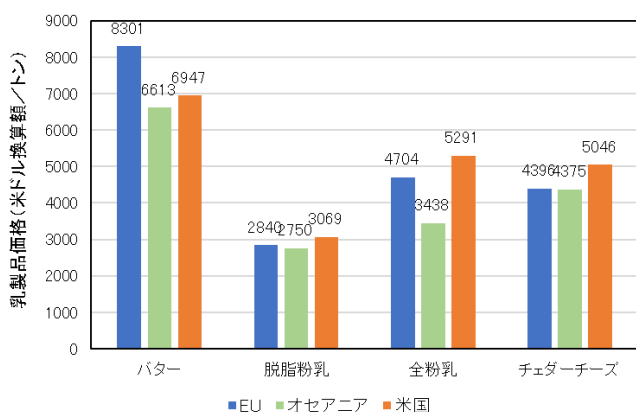
表: EU加盟国の平均乳製品価格(2024年9月15日)

	バター	脱脂粉乳	全粉乳	チーズ				ホエイパウダー
				チェダー	エダム	ゴーダ	エメンタル	
価格(ユーロ/100キロ)	746	256	427	395	450	448	601	90
価格の比較(増減%)								
1週間前	-0.2%	-1.0%	+0.7%	-0.2%	+1.1%	+1.2%	-1.7%	-0.2%
1か月前	+7.4%	+3.9%	+8.9%	+1.2%	+1.0%	+1.4%	+1.3%	+10.4%
2024年初	+36%	-1%	+16%	+11%	+4%	+2%	-2%	+5%
1年前	+69%	+11%	+30%	+5%	+13%	+9%	-3%	+26%
5年間の平均	+63%	-2%	+25%	+6%	+20%	+18%	+13%	+8%

出典: MMO economic board meeting report - 23 September 2024 (*1)を基にJミルク作成

基づく EU 在庫レベルの評価では、脱脂粉乳在庫量(13 万トン)は、生産量の減少により前年よりも低い。バター在庫量は、国内生産量の減少、輸入量の減少、年初には在庫量が低かったことおよび世界需要と域内需要の好調により、前年よりもはるかに低い(-10 万トン)。チーズの在庫は国内生産量の増加により増加しており、前年よりもやや高い(2023 年 7 月と 2022 年 7 月に比べて約+2.5 万トン)。

図3: 世界の乳製品相場 (2024年9月15日)



出典: MMO economic board meeting report - 23 September 2024 (*1)を基に Jミルク作成

世界の他の主要輸出国の多くで 2024 年上半期の生乳生産量が減少

2024 年上半期の他の主要輸出国の生乳生産量は、前年同期に比べてニュージーランド(-2.1%)、ウルグアイ(-4.9%)、英国(-0.7%)、アルゼンチン(-13%)、米国(-1%)で減少した。それでも、ニュージーランドとオーストラリアは、新しいシーズンに期待の持てるスタートを切った。

2024 年に入って堅調なスタートを切った後、2024 年第 2 四半期の世界の乳製品貿易は、中国とアルジェリアの需要が以前よりも弱くなったため、減少した。2024 年上半期の世界の乳製品輸出は、特に第 1 四半期にチーズとホエイパウダーの貿易が増加したことにより、1%増加した。三大輸出国・地域(EU、ニュージー

ランド、米国)は、総輸出量の 82%を占めている。

2024 年上半期の EU の乳製品輸出先の上位 10 か国は、英国、中国、アルジェリア、インドネシア、米国、マレーシア、日本、サウジアラビア、タイ、フィリピンで、全輸出量のシェアは 56%であった。EU の輸出は、2024 年上半期に減少した後、7 月に回復した。

EU で食料品購入の消費者心理は二極化

消費者マインドは安定しているが、新型コロナ禍前の水準を下回っている(ギリシャ、エストニア、ハンガリーの消費者が最も悲観的で、スカンジナビア諸国の消費者がより楽観的である)。外食市場は、今後数年間で、食料品よりもさらに速いペースで成長すると予想されている。食料品の購入に対する消費者心理は、価格志向と高級(品質や健康)志向の間で二極化している。

EU 市場は堅調で、幾つかの懸念はあるものの、見通しは比較的明るい

市場は堅調であり、地合いは強気である。生乳の供給量、家畜の疾病の流行と影響、異常気象(暑熱ストレス、洪水)、エネルギーコストの高騰、地政学的緊張などの懸念がある。それでも、全体的な見通しは比較的明るい。

参考資料:

- 1) https://agriculture.ec.europa.eu/document/download/5a6d817f-a4c1-452c-b30b-0904a33275d7_en?filename=mmo-report-2024-9-23_en.pdf MMO economic board meeting report - 23 September 2024 . European Commission.

(資料閲覧:2024 年 9 月 27 日)

(担当:Jミルク 国際グループ)